

+.....+

【ケアプロ通信vol.108】

9月度ニュース:5者協働で骨の健康チェックイベント実施 ～ その場限りではない支援を ～

+.....+

いつも大変お世話になっております。

今月から、岩本が担当させていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

9月といえば、「お月見」ですね。
今年は中秋の名月が9月21日でしたが、ご覧になりましたでしょうか。

旧暦の8月15日を十五夜、中秋の名月と言われ、秋の真ん中に出る満月のことをさし、
現在の暦では9月7日～10月8日までに出る満月のことをそう呼ぶそうです。

大規模なイベントができない今、
距離を保ちながら共通体験がつかれるお月見は、
現状にぴったりの行事といえるのかもしれませんが。

最近では、オンラインお月見会というイベントが開催されているそうです。

外出が満足にできない状況の中、
運動を始める人が多くなり、より健康志向が高まっていますが、
風物詩や、芸術などに触れる楽しみや癒しを、体感するのも、
健康づくりには必要なことかもしれませんね。

それでは9月度のニュースをお届けいたします。

+.....INDEX.....+

【1】代表 川添高志

「学生インターンと分身ロボットカフェへ」

【2】 予防医療事業部

- 1)5者協働で骨の健康チェックイベント実施 ～ その場限りではない支援を ～
- 2)ロジ内製化しました！

【3】 在宅医療事業部

- 1)利用者満足度調査を実施しました！

【4】 交通医療事業部

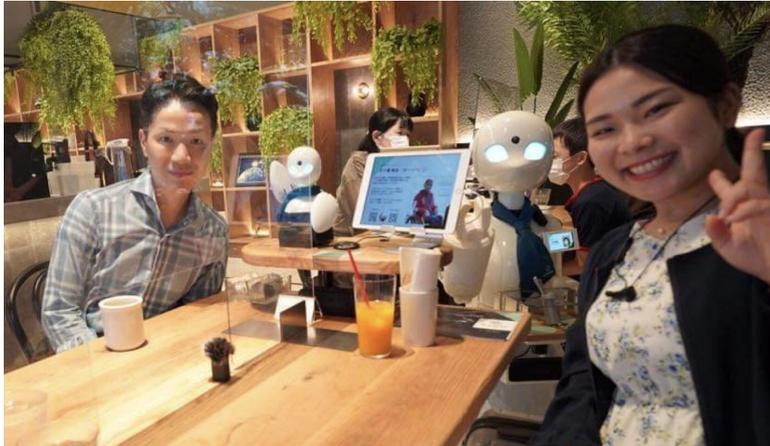
- 1)サッカーナース1周年
- 2)Snow Peak視察 ～ユニバーサルキャンプに向けて～
- 3)「けあサポ」(中央法規)でドコケア掲載

+.....+

+……………代表 川添 高志からのメッセージ……………+

「学生インターンと分身ロボットカフェへ」

9月から慶應義塾大学看護医療学部の学生インターンの佐村さんが加入了。佐村さんは、看護学生ながら、経営や広報に関心があり、オンライン中心にインタビュー等に携わってくれます。



今回、5月にケアプロが経営参画することになった小児専門の訪問看護ステーションHUG(はぐ)の利用者が、自宅にいながらオンラインで分身ロボットを動かしてカフェで働いているということを聞き、分身ロボットカフェに行きました。

オーストラリアや大阪など様々なところに居住する病や障害を持つパイロットが分身ロボットを通したメニュー紹介やフリートークを提供してくれました。いただいたローストビーフも美味しかったです。

感染症の重症化リスクが高い疾患を持つパイロットが多く、外出もしにくく、孤独になりやすい状況です。そのような中、テクノロジーを活用した就業機会があることは、非常に素晴らしいと思いました。

しかし、公的な訪問看護や介護は、仕事に使うことができないため、病や障害がある方が、自宅からオンラインで仕事をする際に、家族の支えが必要なことが多いです。

やりがいのある仕事が、医療や介護に優ることは多く、就労支援と医療介護を縦割りにしない世の中を作っていく必要があります。

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

1)5者協働で骨の健康チェックイベント実施 ～ その場限りではない支援を ～

9月中旬に、アムジェン株式会社、株式会社フージャスケアデザイン、
公益財団法人 骨粗鬆症財団、ロコモ チャレンジ！ 推進協議会の5者協働で
骨の健康チェックイベントを実施いたしました。

※詳細は[こちら](#)

こちらのイベントは、骨粗鬆症の啓発となり、早期発見、早期治療に繋げるイベントです。

今までの実施してきた疾患啓発イベントは、その場限りのセミナーや検査が多く、
継続的な支援が出来ないことが課題としてあげられておりました。

簡便なスクリーニング検査とわかりやすく適切な情報提供を通じて骨粗鬆症を啓発し、
早期に確実に適切な治療を受けられる機会を増やしたい、
その場限りではなく継続した支援をしていきたい
という各者の想いが一致し、今回の連携にいたりました。

今回のイベント判定結果が「受診をお勧めします」に該当された方へは、受診勧奨を行います。
健康チェック利用者に配付しているチラシと骨チェックの結果用紙を病院へ持って行っていただき、
受診勧奨を受けて検査を受けに来たことが分かるようにしています。
また、要受診となった方へ受診勧奨や病院の予約のお手伝いや、
要受診となった方へ通院状況の確認を行うことで、継続した支援につなげていきます。

2)ロジ内製化しました！

今までロジセンターに預けていたイベント物品を社内で管理することを決断し、
8月に引っ越し作業を行い、内製化することができました！
自社で管理することで細やかな在庫管理を行うことができ、
さらには細かいPOPの差し替え、緊急の物品配送などの
迅速で柔軟な対応ができるようになりました。

場所は、現在東京オフィスとして使用している建物(JOY HAYASHI)の5階になります。
より細やかなサービスを目指して事業部一同、誠心誠意努めてまいります。



1)利用者満足度調査を実施しました！

ケアプロ訪問看護ステーション東京では、2019年より関係者満足度調査を行ってきましたが、この9月に、初めて利用者満足度調査を実施しましたので、紹介させていただきます。

本来は、2020年3月に実施予定でしたが、コロナ禍と重なり実施を見合わせたため、実施が、1年半も遅くなってしまいました。様々な所に、コロナ禍の影響があります。

利用者満足度調査は、現場の看護実践の評価がダイレクトに現れる評価指標となります。

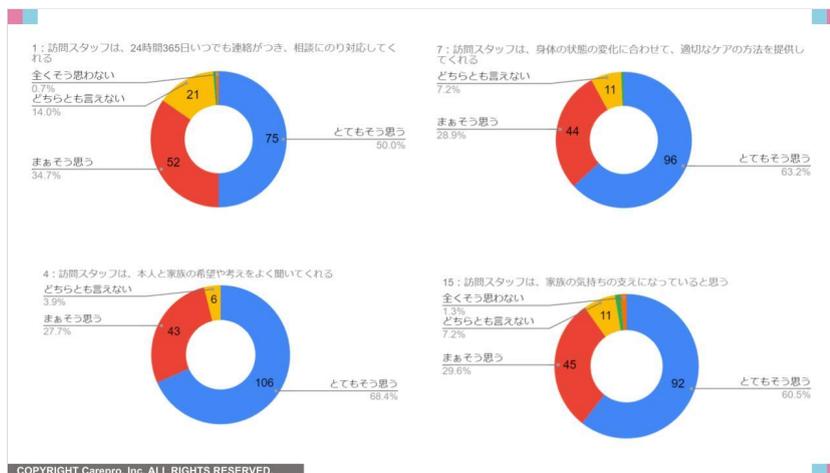
今回の調査から、自由記載の一部をご紹介しますと、

- ・時間内に最後まで的確な処置をしていただけるので大変助かります。
- ・心配なとき、ちょっとした異変に対しても相談できるので、安心して在宅で生活できている。
- ・専門的知識をわかりやすく教えてください、とても助かっています。
- ・対応の早さ、親身になってくれてありがとうございます。

など、とても多くの思いを伝えていただきました。

調査は、日々の現場の一つひとつのケアの結果だと思いますが、大切にしてお関わってきたことを評価してもらえていることが、とても嬉しかったです。

現在、1ステーションの常勤換算数が25名を超えかなり大規模な組織となっていますが、引き続き、丁寧で質の高いケアを実践していけるよう、定期的な客観評価の時間は継続しつつ、サービスを提供し続けたいと思います。



+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+

1) サッカーナース1周年

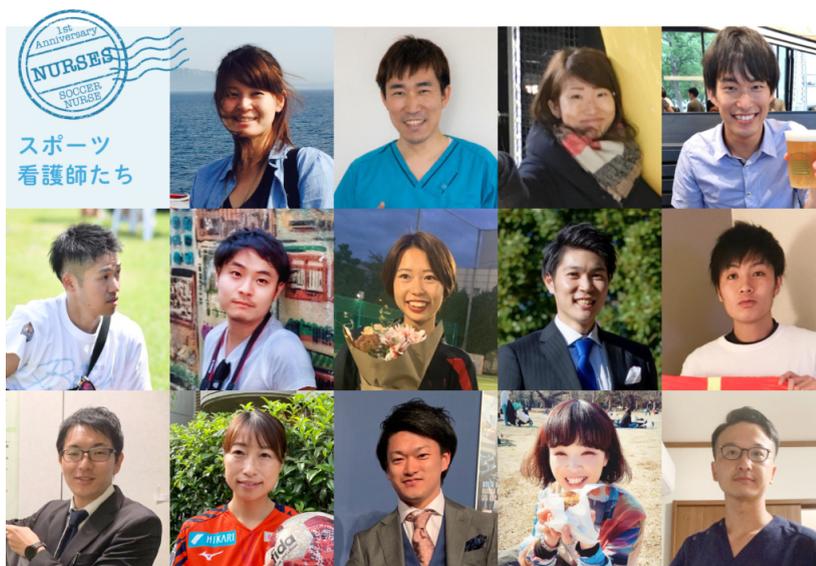
9月9日(救急の日)に、サッカーナースは、1周年を迎えました。

国際スポーツ大会のバブル内で新型コロナウイルス感染症対策をしたり、テニスやハンドボール、空手などのスポーツに対応したり、サービス領域や競技領域が広がっています。



そして、スポーツが好きで、救護スキルがあるサッカーナースは24名になりました。今後も、全国各地でのスポーツ大会に対応しています。

※1周年の詳細は[こちら](#)



2) Snow Peak視察 ～ユニバーサルキャンプに向けて～

誰もが楽しめるキャンプを目指し、白馬まで行ってきました。



コロナによって、キャンプが流行していますが、
障害者にとってハード面とソフト面の合理的配慮の課題があります。

当事者や介助者、キャンプ場などの関係者で連携しながら、
新しいキャンプの形を作っていけたらと思います。

※詳細は[こちら](#)

3)「けあサポ」(中央法規)でドコケア掲載

ドコケアの立ち上げ経緯について取材して頂きました。

<https://www.caresapo.jp/senmon/fukushi-omoi/64273>

取材担当者のご家族を、10年以上前に、
ケアプロが事業継承をした会社の看護師が
看護していたという話でも盛り上がりました。

あの時、ケアした人も、された人も、どうしているかな？と
思うことがありますが、また繋がれる時は、嬉しいものです。